



薫小だより

「気づき・考え・行動する」薫の子



郡山市立薫小学校

学校便り No. 1

令和5年 4月 6日

文責：校長 齋藤和彦

新年度のはじまり..はじまり！

“何だか うまくいきそうな気がする..”

“何か いいことがありそうな気がする..”

ぼかぼか陽気と桜の開花が誘う演出効果なのか、新しい教室..新しい出逢いに..新しい教科書に、ワクワク感と期待が膨らむ4月。

“何だか できちゃいそうな気がする！”

子どもには、こんな毎日を用意したいと思っています。でも、誰もが失敗することもあります。悩み..つまずく日だってあります。

自分の力だけで、これを乗り越えることは大変なことです。～これに挑戦する子、がんばろうとする子を薫小学校の先生方は、必ず全力で応援することを約束します。



学校経営で大切にしたいこと

「すべての子ども一人ひとりを大切にします」

- 日々の授業にわかる・できる「ひと手間」
- 子どもにとって一番の教育環境は「教師」
 - ・ あいさつ、言葉遣い、ほめ方や叱り方まで

「子どもの命を守ることを最優先にします」

- 「潜在危機の発見」と「迅速な改善対応」
- 危険（事故・けが）回避能力の育成

「学び合う教師」= “働き方改善”を推進します」

- 限られた時間の中で最善を尽くす働き方
 - ～子どもにかかわる時間の確保のために～
- 全職員共通認識+チームワーク強化して
 - ※ 「献身的な教師のがんばり」だけでは質の高い教育活動の維持・発展は困難な時代となっています。



学校経営や子どもの情報配信



薫小だよりは、折にふれて、校長としての学校経営についての思いや考えをお示しします。

薫小ホームページでは、写真で子どもの学校生活の様子を紹介します。[ほぼ毎日更新！]
※ 個人を特定する写真や氏名、記載内容には十分配慮します。(掲載許諾確認の上で)

「マスクの着用について」



新型コロナウイルスの5類分類移行に伴う文科省及び市教委指針に基づき、今後のマスク着用について下記のように共通確認します。

- マスクの着用は求めません。
(登下校・教育活動全般 ※歌唱や集会等も)
- ただし、お子さんや保護者の不安がある場合は、着用させていただきます。
- インフルエンザ等、感染症拡大の心配がある場合は、感染拡大防止の校長判断のもと、常時および活動に応じたマスク着用をお願いをする場合があります。

※ マスク着用の有無において、子どもの不利益や誹謗中傷等のないよう十分配慮します。



◆◇ 校長室より ◇◇

- ◎ 学年の「変わり目スイッチ」は、子どもにとっても効果的です。学校全体でも、この期の利を生かして、**【薫小の安全・安心・信頼】**を強化していきたいと考えています。

『何でも言ってください！(すぐに)』

- ・ 保護者の皆様の心配..不満..は、子どもの学校生活や学習に向かう力や心に直結します。子どもの前で、学校や担任の不満や文句を言うと、子どもも学校や先生をそのような目で見えるようになってしまいます。(学びの効果は半減します)
- 学校や学級、校長や担任へのご意見や心配ごとがありましたら、どうぞ、言いやすいところにお気軽に伝えてください。(校長室への電話やメモもO.Kです)

◆◇ このように、「校長室より」と題しまして、校長室から発信したいことや校内や学級を参観して、子どもと接して感じたことや考えたこと、職員のがんばり、「薫の子」のために保護者の皆様をお願いしたいこと等々を伝えていきます。子どもを真ん中に**【安全・安心・信頼】**を築いていきたいのです。

